

トノサマガエル

Rana nigromaculata

カエル目 アカガエル科

カテゴリー

大分県 II

環境庁 掲載なし



両
生
類

成体の体長は4～9cm，体色は緑白色・褐色などの地色に黒色の模様があり変化に富んでいる。普通，背中の中央部に背中線が見られる。水田をおもな繁殖地としていて，4～5月，雌を誘う雄の鳴き合う声（かわず合戦）は，夏の風物詩ともなっていた。オタマジャクシは7月ごろに変態し，その幼体はバッタ類を多量に捕食するので，イネの害虫駆除者として，農薬に勝るほどの役割を果たしていた。近年，「水田の王者」とまでいわれていた本種は，水田の管理放棄，農薬による水質の悪化などで，個体数の激減している所が多くなっている。（写真・文：佐藤真一）

県内分布 中津市，宇佐市，宇佐郡，豊後高田市，東国東郡，速見郡，大分郡，日田市，日田郡，玖珠郡，竹田市，大野郡，直入郡

分布域 本州（関東地方から仙台平野を除いた地域），四国，九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）韓国，中国